

2016年10月21日

業務用パソコンのウィルス感染による驚宮ガス(株)のメールアドレスおよびお客さま情報等の流出のお詫びと弊社アドレスから発信されたウィルス付メールへの注意のお願い

驚宮ガス株式会社

驚宮ガス株式会社(本社住所:埼玉県久喜市上内1005、社長:三浦宏太郎)は、埼玉県久喜市および加須市で都市ガス事業を行っておりますが、このたび、弊社の業務用パソコンがウィルスに感染し、弊社社員のメールアドレスを用いたウィルス付のメールが多数の方に送付された恐れがあるとともに、住所、氏名、電話番号等のお客さま情報が1件流出したことが判明いたしました。

お客さまには弊社社員のメールアドレスを用いたウィルス付のメールにご注意いただくようお願いいたします。なお、情報流出の対象のお客さまには、10月20日(木)に、このたびの事情を説明し、お詫びしております。

弊社といたしまして、お客さまに大変なご迷惑ならびにご心配をおかけすることになりましたことを心からお詫び申し上げます。

このたびの事象は、10月11日(火)に社外の方から弊社に、弊社からのウィルス付メールを受信した旨の連絡があり、ただちに調査したところ、当該のメールアドレスを使用している社員の業務用パソコンがウィルスに感染していることと、当該の社員にあて先不明のエラーを知らせるメールが多数着信していたことが判明したものです。その後、10月19日(水)にウィルスに感染したことにより当該の社員のメールアドレスとパスワードが流出していたことと、住所、氏名、電話番号、ガス機器設置工事の内容等のお客さま情報1件が流出していたことが明らかとなりました。なお、ウィルスに感染した業務用パソコンは10月11日に使用を停止し外部とのネットワークを遮断したため、以降は情報は流出しておりません。また、当該の社員のメールアドレスは翌12日に使用ができないよう設定しました。

弊社は、10月20日に埼玉県警に本事象について相談しております。なお、これまでのところ、流出したお客さま情報の悪用は確認されておりません。また、当該のウィルス付メールにより被害に遭われたとの連絡は受けておりません。

驚宮ガス(株)といたしましては、お客さま情報等の保護を極めて重要な事項と認識しており、このたびの事態の発生を真摯に受け止め再発の防止に努めてまいります。

お客さまの大切な情報を流出するとともに、弊社社員になりましたウィルス付メールを送信する事態となり、大変なご迷惑、ご心配をおかけすることになりましたことを重ねてお詫び申し上げます。

## 記

### 1. お客さまへのお願い

以下のメールが届いている場合は、開封せずに速やかに廃棄するようお願いいたします。

- ・メールアドレス ……………@washinomiogas.co.jp  
注) ……………にはアルファベットの苗字8字が入ります。
- ・送信者名 National Tax Agency JAPAN

### 2. お客さまのお問い合わせ先

驚宮ガス株式会社 お客さま窓口

- ①電話番号 0480-58-1301
- ②受付時間 月～土曜日(祝祭日除く) 9時～17時

※なお、10月23日(日)は上記時間帯で受付いたします。

### 3. 原因について

9月27日（火）に当該の社員に届いたメールの添付ファイルを開封したことにより、当該ファイルが実行され、インターネット上の特定のサイトから複数のウィルスがダウンロードされました。当該のウィルスは、感染したパソコンのメールアドレス情報やwebサイトの閲覧情報等を外部のサーバに送信する「Bebloh」と呼ばれるバンキングトロイ<sup>※</sup>であることが確認されております。

なお、当該の社員にはあて先不明のエラーを知らせるメールが10月7日（金）以降、多数届いておりましたが、出張等で業務用パソコンを使用する機会が無く、当該メールの着信を確認できておりませんでした。

※バンキングトロイ…銀行のオンラインバンクのログイン情報を流出させるウィルス的一种。

### 4. 再発防止策について

- 本件を弊社内で情報共有し、同様の事象が再発しないよう全社員に注意喚起してまいります。
- メールのプロバイダとの契約内容を見直し、メール着信時のウィルスチェックを強化してまいります。
- サイバー攻撃等に対する社員の防御意識を高めるため、10月5日（水）に、偽のウィルス付メールを送付し開封状況を確認する「標的型メール訓練」を初めて実施しましたが、今後も継続して取り組んでまいります。

報道機関のお問い合わせ先

鷲宮ガス（株） 担当：大木

電話 0480（58）1301